

第 28 回 幹 事 会

平成 1 8 年 1 0 月 2 6 日

日 本 学 術 会 議

配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第26回、第27回幹事会議事要旨

資料 5 諸報告事項

資料 6 審議事項

参考 1 日本学術会議における今後の予定

参考 2 平成19年5月～平成19年12月までの幹事会等日程（案）

第 28 回幹事会議事次第

日 時 平成 18 年 10 月 26 日 (木) 14:00～

議 題 I 非公開審議事項

1 委員会関係

- ・ 日本学術会議憲章起草委員会の設置及び委員の決定 (提案 1)
- ・ 移転検討委員会設置要綱案 (提案 2)
- ・ 国際委員会における小委員会の設置及び委員の決定 (提案 3)
- ・ 科学者委員会学術体制分科会の委員の決定 (提案 4)
- ・ 分野別委員会における分科会、小委員会の設置等及び委員会等の委員の決定 (提案 5)
- ・ 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会の委員の決定 (提案 6)

2 外部推薦依頼

- ・ KAVLI 財団による「KAVLI 賞 (精神科学部門) 委員会」の委員推薦手続きについての合意及び委員の推薦 (提案 7)

II 前回幹事会以降の諸報告

III 審議事項

1 一部改正等

- ・ 科学者委員会運営要綱の一部改正 (提案 9)
- ・ 日本学術会議協力学術団体規程の一部改正 (提案 11)
- ・ 平成 18 年度日本・カナダ女性研究者交流事業実施要綱案 (提案 12)

2 平成 18 年度代表派遣 12 月追加分 (提案 13)

3 第 6 回産学官連携サミットの開催 (提案 14)

4 日本学術会議地域振興フォーラムの開催

- ・ 近畿地区 (提案 15)
- ・ 東北地区 (提案 16)

5 委員会主催シンポジウム等の開催

- ・ 「エネルギーと地球温暖化に関するシンポジウム」 (提案 17)
- ・ 公開シンポジウム「魅力的都市構築のための都市・屋上緑化」 (提案 18)
- ・ シンポジウム「現代の研究倫理—責任ある研究調査とは何か—」 (提案 19)
- ・ 「宇宙利用シンポジウム 2007 (第 23 回)」 (提案 20)

6 国内会議の後援 (提案 21)

IV その他

第 28 回 幹事会（10 月 26 日）出席者一覧

会 長	金 澤 一 郎
副会長	浅 島 誠
副会長	鈴 村 興太郎
副会長	土 居 範 久

第一部	部長	広 渡 清 吾
	副部長	佐 藤 学
	幹事	江 原 由美子
	幹事	小 林 良 彰

第二部	部長	唐 木 英 明
	副部長	北 島 政 樹
	幹事	鷺 谷 いづみ
	幹事	山 本 雅

第三部	部長	海 部 宣 男
	副部長	小 林 敏 雄
	幹事	河 野 長

事務局	西ヶ廣 局 長
-----	---------

諸 報 告 事 項

第 1	前回幹事会以降の経過報告	P. 1
1	審議付託等	P. 2
2	賞等の推薦	P. 2
3	会長等出席行事	P. 2
4	国際委員会日米学術交流分科会派遣（第 3 回日米安全・安心な社会に資する科学技術協力イニシアティブワークショップ）の実施	P. 2
5	ICSU（国際学術会議）分担金構造改定部会	P. 3
6	委員会委員の辞任	P. 3
第 2	各部・各委員会等報告	P. 4
1	部会の開催とその議題	P. 4
2	機能別委員会の開催とその議題	P. 5
3	分野別委員会の開催とその議題	P. 6
4	課題別委員会の開催とその議題	P. 9
第 3	総合科学技術会議報告	P. 10

第1 前回幹事会以降の経過報告

1 審議付託等

件 名	申 請 者	審議・付託先
日本地球惑星科学連合2007年大会の後援について	日本地球惑星科学連合代表	第三部
学術刊行物の審査について	日本郵政公社南関東支社長 日本郵政公社東京支社長 日本郵政公社東海支社長 日本郵政公社中国支社長 日本郵政公社近畿支社長 日本郵政公社北海道支社長	科学者委員会
日本学術会議協力学術研究団体の指定について	日本光合成研究会 日本頭蓋顎顔面外科学会 特定非営利活動法人 日本口腔病理学会 日本農業工学会 有限責任中間法人 日本矯正歯科協会 特定非営利活動法人 エイチ・エー・ビー研究機構日本・東アジア文化学会 関西病虫害研究会 日本エミリオ・ディキンソン学会 認知神経科学会 日本地震工学会 日本認知言語学会 天文教育普及研究会 日本歯科医療福祉学会 法と心理学会 情報コミュニケーション学会 日本海洋工学会 実践総合農学会 日本ピア・サポート学会 アジア市場経済学会 日本学校カウンセリング学会 福祉社会学会 応用動物行動学会 日本認知心理学会 日本感性福祉学会 日本法中毒学会 日本景観生態学会 大阪体育学会	科学者委員会

2 賞等の推薦

件 名	照 会 先	備 考
世界食糧賞	各部	照会中
カブリ財団による合意書の合意及び委員会委員	各部	合意及び第二部より推薦有
日本国際賞推薦有資格者	各部	第二部より推薦有
ABEL 賞	各部	推薦見送り
Volvo 環境賞	各部	照会中

3 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
10月11日	日本学術会議に関する国会議員懇話会	金澤会長、浅島副会長、 鈴木副会長、土居副会長、 西ヶ廣事務局長
10月17日	安倍総理大臣への新旧会長の挨拶	金澤会長、黒川前会長、 西ヶ廣事務局長

4 国際委員会日米学術交流分科会派遣（第3回日米安全・安心な社会に資する科学技術協力イニシアティブワークショップ）の実施

- 1 派遣期間 平成18年10月15日（日）～10月19日（木）
- 2 派遣員 唐木 英明（第2部長）
- 3 派遣先 ハワイ（アメリカ合衆国）
- 4 派遣成果・内容
 - （1）会議初日（現地10月15日）

到着日のハワイ沖地震により終日停電のため初日の会議は中止
 - （2）会議2日目（現地10月16日）
 - ① 日本側による協力の内容と平和目的利用限定の再確認
 - ② 初日に予定されていたプレゼンの内容を簡潔に紹介
 - ③ 3つのブレイクアウトセッションを行った後、各セッションでの結論を全体会議で討論し、一部訂正の上了承
 - ④ 総括（唐木部長による「日米安全・安心ワークショップ」の経緯及び対処方針に関する報告を含む）
 - （3）その他

今回は出席しなかった全米科学アカデミーと日本学術会議との「センサー」等に関する協力について、アトキンソン議長および関係者と意見交換

5 ICSU（国際学術会議）分担金構造改定部会

- 1 開催期間 平成18年10月20日（金）～10月21日（土）
- 2 開催地 パリ（フランス）
- 3 出席者 西ヶ廣事務局長
- 4 会議内容

昨年中国で開催された ICSU 総会の決定に基づき、分担金構造改定のための部会が開催され、検討した案については、部会の報告書を作成し、4月の執行理事会で議論を行った後、2008年の総会において検討・決定される予定。

6 委員会委員の辞任

日本学術会議会則第28条第2項及び日本学術会議の運営に関する内規第18条の規定の規定により、下記委員会等に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

第20期	企画委員会	黒川	清（平成18年9月10日付け）
		大垣	眞一郎（平成18年10月3日付け）
		石倉	洋子（平成18年10月3日付け）
	選考委員会	黒川	清（平成18年9月10日付け）
	科学者委員会学術体制分科会		
		金澤	一郎（平成18年10月4日付け）
	科学と社会委員会	大垣	眞一郎（平成18年10月3日付け）
		土居	範久（平成18年10月3日付け）
	国際委員会	石倉	洋子（平成18年10月3日付け）
		鈴木	興太郎（平成18年10月3日付け）
	地域研究委員会	猪口	孝（平成18年9月28日付け）
	政治学委員会	小杉	泰（平成18年10月2日付け）
	哲学委員会	鈴木	興太郎（平成18年10月3日付け）
	物理学委員会物性物理学・一般物理学分科会		
		外村	彰（平成18年10月4日付け）
	総合工学委員会	永宮	正治（平成18年10月16日付け）

第2 各部・各委員会等報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第一部会 (第6回) (10月2・3日)

①報告事項

- 1) 幹事会からの報告
 - 2) 各委員会からの報告
 - ・機能別委員会 (企画、選考、科学者、科学と社会、国際)
 - ・分野別委員会
 - ・課題別委員会
 - ・その他
- * 科学技術振興機構「電子アーカイブ対象誌選定委員会」

②審議事項

- 1) 総会提案について
 - ・科学者の行動規範について (声明) 等
- 2) 日本学術会議協力学術研究団体規定の改定 (案) について
- 3) 冬季部会について
- 4) 第一部関連分野別委員会のホームページ掲載 (案) について
- 5) 各賞の受賞候補者の推薦について
 - ・世界食糧賞

③その他

(2) 第二部会 (第6回) (10月2・3日)

①新会長等選出に伴う部役員等の改選

②報告事項

- 1) 総会提案事項 1 「補欠の会員候補者の承認について」
- 2) 第二部からの報告
- 3) 各委員会からの報告
 - ・機能別委員会 (企画 [年次報告]、選考、科学者 [広報・男女・学術体制]、科学と社会 [科学力増進]、国際 [国際会議主催・日英学術交流・アジア学術会議等])
 - ・分野別委員会 (基礎生物、応用生物、農学基礎、生産農学、基礎医学、臨床医学、健康・生活科学、歯学、薬学、(環境その他))
 - ・課題別委員会 (科学者の行動規範、学術とジェンダー、学術・芸術資料保全体制、ヒト由来試料・情報を用いる研究に関する生命倫理、子どもを元気にする環境づくり戦略・政策、地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築、教師の科学的教養と教員養成、科学者コミュニティと知の統合、エネルギーと地球温暖化、研究評価のあり方)

③審議事項

- 1) 総会提案事項 2 「日本学術会議細則の一部を改正する決定案について
- 2) 総会提案報告 3 「科学者の行動規範について (声明)」 (案)

- 3) 分野別委員会分科会の定員の変更について
- 4) 日本学術会議協力学術研究団体規定の改定（案）について
- ④その他

(3) 第三部会（第6回）（10月2・3日）

- ①「科学者の行動規範について」提案について
- ②各分野別委員会における分科会の設置状況と運営について
- ③日本学術会議のこの1年間の活動について
- ④日本学術会議協力学術研究団体の指定及び日本郵政公社による学術刊行物の指定に対する審査協力について
- ⑤第三部の今後の活動について ⑥地方部会について ⑦その他

2 機能別委員会の開催とその議題

(1) 企画委員会（第10回）（10月3日）

- ①委員長等挨拶 ② 役員の指名と同意 ③その他

(2) 選考委員会（第14回）（10月3日）

- ①委員長挨拶 ②副委員長、幹事の指名 ③その他

(3) 科学者委員会（第13回）（10月3日）

- ① 平成18年度日本学術会議主催公開講演会（第3回）について ② 日本学術会議協力学術研究団体の指定及び日本郵政公社による学術刊行物の指定に対する審査協力について ③ 日本学術会議 地域振興・東北地区フォーラム実施について ④ 今後の予定について

(4) 男女共同参画分科会（第5回）（10月2日）

- ① 医療分野における男女共同参画の取り組みについて ② 文科省の女性研究者支援モデル事業について ③アンケート調査実施、中間報告書の準備等WG設置について ④ 次回委員会の日程

(5) 科学者委員会 学術体制分科会（第3回）（10月4日）

- ①科学研究費補助金の分科細目の見直し等について ②委員からの論点別意見発表 ③今後の進め方について ④その他

(6) 科学と社会委員会（第7回）（10月3日）

- ①役員の改選及び委員の辞任の承認について ②第5回、第6回議事要旨（案）の確認 ③日本学術会議の意思の表出に係る商業出版、及び日本学術会議が主催または後援するシンポジウム等における有償刊行物の販売について（案） ④その他（今後の活動方針等、意見交換）

(7) 科学と社会委員会 科学力増進分科会（第8回）（10月26日）

- ①シンポジウムについて ②サイエンスカフェについて ③その他

(8) 国際委員会 (第9回) (10月3日)

① 役員の指名と同意 ②その他

(9) 地区会議代表幹事会 (第3回) (10月3日)

①第2回 (平成18年4月10日) 議事要旨 (案) ②地区会議構成員の一部変更等について ③平成18年度下期事業の各地区現況 ④平成19年度事業計画策定に向けて ⑤今後の地区会議事業のあり方について ⑥その他

3 分野別委員会の開催とその議題

第一部関係

(1) 政治学委員会 (第3回) (10月2日)

①政治学委員会の今後の活動方針について ②分科会の活動について ③その他

(2) 第一部関連分野別委員会合同 人文社会科学と学術分科会 (第1回) (10月2日)

①役員の選出 ②冬季部会における公開シンポジウム「人文社会科学の学術における役割」(仮題)について ③今後の活動方針について ④その他

(3) 哲学委員会 (第4回) (10月3日)

①分科会の設置について ②その他

(4) 法学委員会 法学系大学院分科会 (第1回) (10月4日)

①役員の選出 ②連携会員の選考について ③今後の活動方針について ④その他

(5) 経済学委員会 (第4回) (10月4日)

①経済学委員会主催の学術シンポジウムの企画について ②経済学委員会の役員補充について ③分科会の活動企画について ④新たな連携会員を経済学委員会に迎える件について ⑤新たな分科会を設置する計画について ⑥国際会議への代表派遣について ⑦その他

(6) 経済学委員会 IEHA分科会 (第1回) (10月4日)

①役員の選出 ②連携会員の分科会への所属について ③その他

(7) 地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IHDP分科会

(第3回) (10月25日)

①委員の追加推薦について ②国際対応について ③AASSREC 対応について— 報告— ④今年度の活動計画について ⑤次回分科会日程について ⑥その他

第二部関係

(1) 農学基礎委員会 及び 生産農学委員会合同委員会 (第7回) (10月2日)

①対外報告の審議方法について ②その他

- (2) 農学基礎委員会 水問題分科会 (第3回) (10月4日)
①課題審議について ②シンポジウムについて ③その他
- (3) 農学基礎委員会・生産農学委員会合同 C I G R分科会 (第4回) (10月5日)
①課題審議について ②シンポジウムについて ③その他
- (4) 基礎医学委員会 形態・細胞生物医科学分科会 (第1回) (10月5日)
①委員長、副委員長、幹事の選出について ②今後の活動について ③その他
- (5) 基礎医学委員会 病原体学分科会 (第2回) (10月18日)
①病原体の定義 ②現状把握 ③人材育成 ④他の分科会との連携 ⑤提言やシンポジウム開催の企画 ⑥その他
- (6) 生産農学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同新興・再興感染症分科会
(第2回) (10月18日)
①病原体の定義 ②現状把握 ③人材育成 ④他の分科会との連携 ⑤提言やシンポジウム開催の企画 ⑥その他
- (7) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学基礎委員会合同総合微生物科学分科会 (第2回) (10月18日)
①微生物学協会連盟 (仮称) の立ち上げについて ②当面の I U M S分科会及び I U M S準備会との連携について ③新たな当分科会の審議事項 (人材育成等) について ④その他
- (8) 生産農学委員会 応用昆虫学分科会 (第1回) (10月20日)
①委員長、副委員長、幹事 (2名) の選出 ②分科会の活動方針について③その他
- (9) 健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 禁煙社会の実現分科会
(第4回) (10月24日)
①WHOたばこ対策担当 望月友美子部長との意見交換 ②その他
- (10) 臨床医学委員会 感覚器分科会 (第2回) (10月24日)
①幹事の決定について ②今後の活動方針について ③その他

第三部関係

- (1) 物理学委員会 物性物理学・一般物理学分科会 (第1回) (10月4日)
①委員長等の選出について ②今後の活動について ③その他
- (2) 化学委員会 I U C r 分科会 (第2回) (10月4日)
①委員長の交代について ②今後の活動について ③その他
- (3) 物理学委員会 (第4回) (10月4日)
①活動状況等の報告 ②今後の活動方針について ③その他

- (4) 物理学委員会 素粒子物理学・原子核物理学分科会 (第1回) (10月5日)
①委員長等の選出について ②活動状況等の報告 ③今後の活動について③その他
- (5) 土木工学・建築学委員会 国土と環境分科会 (第2回) (10月11日)
①役員の選任について ②委員候補者の選出について ③小委員会の設置について
④今後の活動について ⑤その他
- (6) 地球惑星科学委員会 国際対応分科会 IUGG (国際測地学及び地球物理学連合)
小委員会(第1回) (10月13日)
①委員長の選出について ②IUGG2007 (Perugia) に向けてのビジネスについて
③小委員会委員の拡大について ④IUGG傘下の7つのAssociations に対応
する小委員会の設置について ⑤その他
- (7) 土木工学・建築学委員会 拡大役員会 (第6回) (10月16日)
①分科会、小委員会の委員構成について ②大学等における後継者育成について
③各分野別委員会での懸案事項、重点審議事項について ④「分科会、委員会等の
中間報告 (シンポジウム)」について ⑤その他
- (8) 総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 IFAC分科会
(第3回) (10月17日)
①IFAC理事会報告 ②シンポジウム報告 ③今後の活動について ④その他
- (9) 総合工学委員会 IC0分科会 (第3回) (10月17日)
①IC0 Topical meeting (St.Petersburg) の参加報告 ②分科会委員長の交代につい
て ③分科会の今後の活動方針について ④その他
- (10) 化学委員会 化学企画分科会 (第2回) (10月19日)
①分科会の設置について ②化学委員会の今後の活動について ③その他
- (11) 総合工学委員会 拡大役員会 (第1回) (10月19日)
①今後設置する分科会について ②小委員会設置の考え方について ③その他
- (12) 地球惑星科学委員会 (第10回) (10月21日)
①連携会員を含めた今後の活動方針について ②その他
- (13) 土木工学・建築学委員会 建設と社会分科会 (第2回) (10月23日)
①建設と社会分科会 活動計画の推移 ②小委員会報告:次世代の社会的共通資産に
関する研究推進戦略小委員会 ③小委員会報告:住宅・社会基盤整備と民生用エネ
ルギー問題に関する検討小委員会 ④今後の方向に関する自由討議
- (14) 機械工学委員会 (第3回) (10月23日)
①これまでの委員会、分科会活動について ②新規分科会の設置について ③若手

人材育成について ④その他

(15) 機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM分科会

(第4回) (10月23日)

①分科会幹事の選出について ②IUTAM総会報告について ③理論応用力学講演会開催方針について ④理論応用力学講演会準備状況について ⑤日本学術会議活動報告 ⑥その他

(16) 機械工学委員会 生産科学分科会 (第1回) (10月23日)

①委員長、幹事等の選出 ②委員の追加について ③生産科学分科会のミッション ④今後の進め方 ⑤その他

(17) 化学委員会 IUPAC分科会 (第2回) (10月26日)

①IUPACのDivisionの日本代表について ②今後の活動について ③その他

4 課題別委員会の開催とその議題

(1) 学術とジェンダー委員会 (第8回) (10月4日)

①本委員会の報告書等について ②シンポジウムについて ③その他

(2) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会

(第2回) (10月6日)

①各分科会からの審議状況の報告 ②ICSU (国際科学会議) 報告 ③報告書案について ④今後の進め方について ⑤その他

(3) エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会 (第2回) (10月11日)

①科学技術振興調整費による調査の状況について ②IACワークショップについて ③エネルギーと地球温暖化について ④その他

(4) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会拡大役員会

(第4回) (10月19日)

①各分科会からの報告 ②報告書目次案について ③その他

(5) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会 (第4回) (10月23日)

①報告書案について ②その他

(6) 学術・芸術資料保全体制検討委員会 (第6回) (10月23日)

①報告書目次案について ②公開講演会について ③その他

(7) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会 (第4回) (10月23日)

①報告書の内容及び執筆分担について ②その他

第3 総合科学技術会議報告

1 専門調査会

＊第59回評価専門調査会 10月5日

(1) 評価専門調査会(第58回)議事概要について

(2) 最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用の
フォローアップ結果について

2 総合科学技術会議有識者議員会合

・10月19日 ＊ 会長出席

・10月26日 ＊ 会長出席

審 議 事 項

(一部改正等)

- | | | |
|-------|------------------------------|-------|
| 提案 9 | 科学者委員会運営要綱の一部を改正する決定案 | P. 1 |
| 提案 11 | 日本学術会議協力学術研究団体規程の一部を改正する決定案 | P. 7 |
| 提案 12 | 平成 18 年度日本・カナダ女性研究者交流事業実施要綱案 | P. 12 |

(派遣)

- | | | |
|-------|-------------------------------|-------|
| 提案 13 | 平成 18 年度代表派遣(平成 18 年 12 月追加分) | P. 16 |
|-------|-------------------------------|-------|

(日本学術会議主催会議等)

- | | | |
|-------|---|-------|
| 提案 14 | 第 6 回産学官連携サミットの開催 | P. 18 |
| 提案 15 | 日本学術会議地域振興・近畿地区フォーラム
「21 世紀の日本が求める人材」(仮題)の開催 | P. 22 |
| 提案 16 | 日本学術会議地域振興・東北地区フォーラム
「少子高齢化社会と男女共同参画」の開催 | P. 23 |
| 提案 17 | エネルギーと地球温暖化に関するシンポジウムの開催 | P. 24 |
| 提案 18 | 公開シンポジウム「魅力的都市構築のための都市・屋上緑化」の開催 | P. 25 |
| 提案 19 | シンポジウム「現代の研究倫理—責任ある研究調査とは何か—」の開催 | P. 27 |
| 提案 20 | 「宇宙利用シンポジウム 2007 (第 23 回)」の開催 | P. 29 |

(後援)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 提案 21 | 国内会議の後援 | P. 30 |
|-------|---------|-------|

9	
幹事会	28

提 案

科学者委員会運営要綱の一部を改正する決定案

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること
- 3 提案理由 地区会議の運営は、地区会議構成員と各地区の関係大学事務局に協力いただいているところだが、地方と中央の意思の疎通をより強固にすることが重要であるため、地区会議の運営に関し必要な事項を定める科学者委員会に地区会議代表幹事会から1名を委員として追加することとし、今般、運営要綱を改正するものである。

科学者委員会運営要綱（平成１７年１０月４日 日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後	改 正 前
（組織） 第１ 科学者委員会（以下「委員会」という。）は、副会長（日本学術会議会則第５条第１号担当）、各部の３名（うち１名は役員とする。）<u>及び地区会議代表幹事会の１名の会員をもって組織する。</u> 第２、第３、第４ （略）	（組織） 第１ 科学者委員会（以下「委員会」という。）は、副会長（日本学術会議会則第５条第１号担当）<u>及び</u>各部の３名（うち１名は役員とする。）の会員をもって組織する。 第２、第３、第４ （略）

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

1 1	
幹事会	2 8

提 案

日本学術会議協力学術研究団体規程の一部を改正する決定案

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること
- 3 提案理由 協力学術研究団体の要件、活動等についての記述を改めるとともに、別表で定められた協力学術研究団体の申込書について、連合体の場合の構成する団体の記入欄及び団体に関連する分野別委員会を記入する欄を新設する。

日本学術会議協力学術研究団体規程（平成１７年１０月４日 日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 案	現 行
（要件） 第１ 日本学術会議会則（以下「会則」という。）第３４条第１項に規定する日本学術会議協力学術研究団体（以下「協力学術研究団体」という。）は、次の基準を具備する「学術研究団体」又は「学術研究団体の連合体」であることを原則とする。 ① 学術研究の向上発達を図ることを主たる目的とし、かつその目的とする分野における学術研究団体として活動しているものであること。 ② 研究者の自主的な集まりで、研究者自身の運営によるものであること。 ③ 「学術研究団体」の場合は、その構成員（個人会員）の数が 100 人以上であること。 ④ 「学術研究団体の連合体」の場合は、3 つ以上の協力学術研究団体を含むものであること。 （削除） （称号の付与） 第２ 協力学術研究団体の称号の付与は、次の手続により行うものとする。 ① 称号の付与を受けようとする団体は、申込書（別表 1 又は別表 2 に定める様式）に所要の事項を記入の上、会長あて申し込むものとする。 （略） （活動） 第３ 日本学術会議は会則第３４条第２項の規定に基づき、協力学術研究団体と緊密な協力関係を持つため、次のことを行うものとする。 ① 広報刊行物、ニュース・メール等の配布・配信 （削除） ② 適当と認められる会議の共同開催又は後援	（要件） 第１ 日本学術会議会則第３４条に規定する日本学術会議協力学術研究団体は、次の基準を具備することを原則とする。 ① 学術研究の向上発達を図ることを主たる目的とする団体であって、かつその目的とする分野における学術研究団体として活動しているものであること。 ② 個人会員である構成員の数が、１００名以上であること。 第２ 前項の基準の判定に当たっては、関係団体の実情を勘案して行うことができる。 （称号の付与） 第３ 日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与は、次の手続により行うものとする。 ① 称号の付与を受けようとする団体は、申込書（別表に定める様式）に所要の事項を記入の上、会長あて申し込むものとする。 （略） （活動） 第４ 日本学術会議は、日本学術会議協力学術研究団体の称号が付与された団体に対して次のことを行うものとする。 ① 広報刊行物、ニュース・メール等の配布・配信 ② 選考委員会からの会員及び連携会員の候補者に関する情報の提供の依頼 ③ 適当と認められる会議の共同開催又は後援

(変更の届出) <u>第4</u> <u>協力学術研究団体</u>の称号が付与された学術研究団体は、代表者、事務局所在地、連絡先等の変更があった場合は速やかに文書で届け出るものとする。 (称号の取消し) <u>第5</u> 前項の届出がない等の理由により<u>連絡先等</u>が不明となった場合は、会長は、幹事会の議を経て<u>当該学術研究団体</u>に付与した称号を取り消すことができるものとする。この場合において、会長は、科学者委員会に意見を求めるものとする。 2 会長は、称号の取消しを行った場合は、<u>当該学術研究団体</u>に付与した称号を取り消したことを、日本学術会議のホームページに掲載するものとする。 (削除) (雑則) <u>第6</u> この規程に定めるもののほか、<u>協力学術研究団体</u>の称号の付与並びに<u>協力学術研究団体</u>との連携及び協力に当たって必要な事項は、科学者委員会がこれを定める。 (略)	(変更の届出) <u>第5</u> <u>日本学術会議協力学術研究団体</u>の称号が付与された団体は、代表者、事務局所在地、連絡先等の変更があった場合は速やかに文書で届け出るものとする。 (称号の取消し) <u>第6</u> 前項の届出がない等の理由により<u>広報資料等の受取人</u>が不明となった場合は、会長は、幹事会の議を経て<u>当該団体</u>に付与した称号を取り消すことができるものとする。この場合において、会長は、科学者委員会に意見を求めるものとする。 2 会長は、称号の取消しを行った場合は、<u>当該団体</u>に付与した称号を取り消したことを、日本学術会議のホームページに掲載するものとする。 (学会の連合体等) <u>第7</u> 学会の連合体及びこれに準じるもの、その他日本学術会議において必要と認めた団体は、学術研究団体に準じて扱うものとする。 (雑則) <u>第8</u> この要綱に定めるもののほか、<u>日本学術会議協力学術研究団体</u>の称号の付与並びに<u>日本学術会議協力学術研究団体</u>との連携及び協力に当たって必要な事項は、科学者委員会がこれを定める。 (略)
--	--

別表 1 (第 2 項関係) (学術研究団体用)

日本学術会議協力学術研究団体申込書

平成 年 月 日

日本学術会議会長 殿

申込団体名

代表者氏名

印

日本学術会議の活動に協力する学術研究団体としての称号の付与を受けたいので、関係書類を添えて下記により申し込みます。

記

1 名 称 和文 (ふりがな)

英文

2 代表者 (氏名、所属・肩書き)

3 設立年月日

4 個人会員である構成員の数 (学部学生を除く。) 及び男女の別

5 役員の数及び男女の別

6 活動状況

(1) 機関誌 (誌名、創刊年月、発行回数／年、発行部数)

(2) 会 合 (年次総会、全国学術大会、公開講演会など主な会合名及び開催数／年)

(3) その他

7 連合体への加盟状況

(1) 国内 (連合体名称、加盟年月日)

(2) 国外 (連合体名称、加盟年月日)

8 事務所 (事務局)

所在地 〒

事務担当者名、電話、F A X、E-mail、ホームページ

※ 貴学会が関係する学問分野は、1～3のいずれに該当するか、○印をご記入ください。(複数可)

また、関係すると思われる分野別委員会(日本学術会議ホームページ参照)を()内にご記入ください。

1) 人文・社会科学

2) 生命科学

3) 理学・工学

() () ()

添付物 1 会則・約款、設立趣意書、機関誌

2 役員名簿 (男女別及び所属する大学等機関名を含む。)

(略)

別表 (第 3 項関係)

日本学術会議協力学術研究団体申込書

平成 年 月 日

日本学術会議会長 殿

申込団体名

代表者氏名

印

日本学術会議の活動に協力する学術研究団体としての称号の付与を受けたいので、関係書類を添えて下記により申し込みます。

記

1 名 称 和文 (ふりがな)

英文

2 代表者 (氏名、所属・肩書き、性別)

3 設立年月日

4 個人会員である構成員の数 (学部学生を除く。) 及び男女の別

5 活動状況

(1) 機関誌 (誌名、創刊年月、発行回数／年、発行部数)

(2) 会 合 (年次総会、全国学術大会、公開講演会など主な会合名及び開催数／年)

(3) その他

6 連合体への加盟状況

(1) 国内 (連合体名称、加盟年月日)

(2) 国外 (連合体名称、加盟年月日)

7 事務所 (事務局)

所在地 〒

事務担当者名、電話、F A X、E-mail、ホームページ

※ 貴学会が関係する学問分野は、1～3のいずれに該当するか、○印をご記入ください。(複数可)

1) 人文・社会科学

2) 生命科学

3) 理学・工学

添付物 1 会則・約款、設立趣意書、機関誌

2 役員名簿 (男女別の情報を含む。)

(略)

別表 2 (第 2 項関係) (学術研究団体の連合体用)

別表 2 (第 2 項関係) (学術研究団体の連合体用)

日本学術会議協力学術研究団体申込書

平成 年 月 日

日本学術会議会長 殿

申込団体名

代表者氏名

印

日本学術会議の活動に協力する学術研究団体としての称号の付与を受けたいので、関係書類を添えて下記により申し込みます。

記

1 名称	和文 (ふりがな)

英文

2 代表者（氏名、所属・肩書き）

3 設立年月日

4 連合体を構成する協力学術研究団体名

5 役員の数及び男女の別

6 活動状況

(1) 会 合 (年次総会、全国学術大会、公開講演会など主な会合名及び開催数/年)

(2) その他

7 事務所（事務局）

所在地 下

事務担当者名、電話、FAX、E-mail、ホームページ

※ 貴連合体が関係する学問分野は、1～3のいずれに該当するか、○印をご記入ください。(複数可)

また、関係すると思われる分野別委員会(日本学術会議ホームページ参照)を()内にご記入ください。

1) 人文·社会科学

2) 生命科学

3) 理学・工学

()

()

()

添付物 1 会則・約款、設立趣意書

2 役員名簿（男女別、所属する学術研究団体及び大学等機関名を含む。）

3 その他活動状況の分かる資料

提出先 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

日本学術会議事務局企画課

日本学術会議協力学術研究団体担当

電話 (03) 3403-1906

その他 本申込書に記入いただいた内容は、学会の状況に関する統計分析を行うための基礎資料

として使用し、分析結果を公表する場合がありますので、ご承知おきください。

(新規)

1 2	
幹事会	2 8

提 案

平成 1 8 年度日本・カナダ女性研究者交流事業実施要綱案

1. 提 案 者 国際委員会委員長
2. 議 案 標記について、別紙案のとおり承認すること。
3. 提案理由 日本学術会議会則第 3 条第 1 項第 5 号の国際活動として平成 1 8 年度日本・カナダ女性研究者交流事業を行うこととし、実施要綱を別紙案のとおり策定いたしたい。

《参考》日本学術会議会則（抜粋）

（国際活動）

第三条 法第三条第二号の職務として、法第六条の二に定める国際団体への加入のほか、次に掲げる国際活動を行うことができる。

- 一 学術に関する国際会議等への代表の派遣
- 二 学術に関する国際会議の主催及び後援
- 三 二国間学術交流
- 四 アジア学術会議に関すること
- 五 その他会長が必要と認めるもの

平成18年度日本・カナダ女性研究者交流事業実施要綱（案）

平成18年 月 日
日本学術会議第 回幹事会決定

1. 目的

本事業は、日本・カナダ両国の優れた女性研究者の相互訪問を通じて、幅広く科学技術・学術分野における女性の活躍を促進することを目的とする。

2. 事業の内容

- (1) 当該女性研究者は相手国の大学や研究機関等を訪問し、専門分野における最近の研究動向等について情報交換する。
- (2) 初等中等教育段階の学校（小学校、中学校、高校）を訪問し、自らの研究活動や研究者としての経験について紹介しつつ、生徒との交流を行う。
- (3) 帰国後報告会を設け、両国の研究環境や教育環境の違い、双方の優れた点や検討すべき点等について、直に触れることにより得た知見を報告する。

3. 実施計画

18年度は、カナダ側からの派遣の受け入れ及び日本からカナダへの女性研究者の派遣を行う。滞在期間はいずれも1週間から10日間程度とする。

カナダ側から派遣受け入れ（1名）	1月～3月頃予定
日本からカナダへの派遣（2名）	1月～3月頃予定

4. 実施体制

(1) 実施体制

日本とカナダが共同で実施。

日本側：日本学術会議、文部科学省

カナダ側：在日カナダ大使館、カナダ王立協会、カナダ保健研究機構、カナダ自然科学・工学研究審議会

(2) 事務分担

①カナダ側からの派遣者	：旅費	カナダ側が負担
	滞在費	文部科学省が負担
	受入事務	日本学術会議
②日本からカナダへの派遣	：旅費	文部科学省が負担
	滞在費	カナダ側が負担
	受入事務	カナダ王立協会

(3) 日本・カナダ女性研究者交流分科会

国際委員会の下に置かれている日本・カナダ女性研究者交流分科会において、当該事業の実施に係る企画・調整等を行っている。

5. 派遣者の選定

ホームページ上（日本学術会議及び内閣府）で公募を行う。国際委員会日本・カナダ女性研究者交流分科会による審査の上、2名の派遣者を選定。（募集要項等の詳細については、関係機関と協議の上、別途定める）

6. その他

日本学術会議における本事業の庶務は、日本学術会議事務局各課・参事官の協力を得て、参事官（国際業務担当）において処理する。

平成18年度日本・カナダ女性研究者交流事業について

1. 経緯

本事業は、日加外交関係樹立75周年及び日加通商関係樹立100周年を記念して開催された「科学技術とビジネスにおける女性」コンファレンス（平成16年11月29日～12月1日：カナダ大使館主催。高円宮妃殿下御臨席の下、黒川前会長、中山成彬文部科学大臣出席）を契機に創設された。

2. 事業の目的・内容

日本とカナダの優れた若手女性研究者が、両国の研究環境や教育環境の違い、双方の優れた点、検討すべき点等を直に触れて体験することにより、そこで得た経験や知見を両国の女性研究者の育成や活躍のために活かしてもらうことを目的とする。

相手国の大学や研究機関に滞在し、専門分野における最近の研究動向等について情報交換するとともに、初等中等教育段階の学校（小学校、中学校、高等学校）を訪問する。

3. 16年度及び17年度の交流事業

16年度は、当事業が急遽創設された事情もあり、カナダ側からの派遣受入れのみ（2人）。日本からカナダへの派遣は17年度から開始。

(1) 16年度

① Dr. Jillian Buriak（専門分野：半導体表面科学）

アルバータ大学化学部門教授

カナダ国立研究機構ナノテクノロジー研究所主任研究員

（日 程）平成17年2月28日－3月5日（6日間）

（訪問先）お茶の水女子大（セミナー）、カナダ大使館、筑波大学（講演）、アメリカンスクール（調布）、文部科学省、国立女性教育会館、高崎女子高等学校

② Dr. Freda D. Miller（専門分野：神経学細胞）

トロント疾病児病院主任研究員・カナダ保険研究機構主任調査員

トロント大学分子・遺伝病学部門教授

（日 程）平成17年3月19日－3月28日（10日間）

（訪問先）お茶の水女子大附属高等学校（講演）、文部科学省、慶應義塾大学（セミナー）、カナダ大使館（講演）、アメリカンスクール、京都大学（セミナー）、京大ウイルス研究所

(2) 17年度

＜カナダからの受入れ＞

① Dr. Mona Nemer（専門分野：生物化学）

モントリオール研究診療研究所心臓成長分化研究部門長

モントリオール大学医学部教授

（日 程）平成18年3月19日－3月25日（7日間）

（訪問先）千葉大学（セミナー）、カナダ大使館、文部科学省、筑波大学、東京大学（セミナー）、お茶の水女子大学附属高等学校（講演）、お茶の水女子大学（セミナー、ディスカッション）、日本学術会議（表敬）

＜日本からカナダへの派遣＞

① 本間 典子 氏（専門分野：分子細胞生物学）

東京大学大学院医学系研究科助手

（日 程）平成18年3月22日－3月31日（10日間）

（訪問先）アルバータ大学（セミナー）、St. Teresa catholic 小学校（科学授業見学）、WP Wagner High School（高等学校、訪問）、Hillcrest 小学校（実験授業）、オンタリオ・サイエンス・センター（科学館）、OISE（トロント大学教育

センター、セミナー)、トロント大学 Massey College (セミナー)、ICS 小学校 (Institute of child study at OISE、訪問)、Middle field 高等学校 (訪問)

② 加藤 美砂子 氏 (専門分野: 生化学)

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助教授

(日 程) 平成18年3月25日ー3月31日 (7日間)

(訪問先) ゲルフ大学 (セミナー、ワークショップ)、ウォータールー大学 (講演)、
St. John's-Kilmarnock School (高等学校、講演)

4. 実施体制

(1) 実施体制

日本とカナダが共同で実施。

日本側 : 日本学術会議、文部科学省

カナダ側 : 在日カナダ大使館、カナダ王立協会、カナダ保健研究機構、カナダ自然科学・
工学研究審議会

(2) 事務分担

①カナダからの派遣

旅費	カナダ側が負担
滞在費	文部科学省が負担
受入事務	日本学術会議

②日本からカナダへの派遣

旅費	文部科学省が負担
滞在費	カナダ側が負担
受入事務	カナダ王立協会

5. 今後のスケジュール

(1) 18年度のスケジュール

10月26日	本年度の事業計画について幹事会に提案
11月 上旬	公募開始
11月 下旬	公募締切
12月 初旬	分科会にて派遣者選定 (幹事会に報告)
中旬	受入れの日程確定・日本訪問先との調整終了 カナダ訪問先との調整終了
1月 中旬～3月 下旬	受入れ実施・派遣実施

(2) 事業全体のスケジュール

3ヵ年で双方4人の女性研究者を派遣・受入れ。

16年度: カナダ側からの研究者2人の受入れ

17年度: 日本から研究者2人の派遣、カナダ側から研究者1人の受入れ

18年度: 日本から研究者2人の派遣、カナダ側から研究者1人の受入れ

※19年度以降は両国間で改めて協議。

13	
幹事会	28

提 案

平成18年度代表派遣について（平成18年12月追加分）

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり実施すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第19条の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣者の選考）

- 第19条** 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。
- 2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の1か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

番号	国際会議等	派遣日数		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
		会期分	計			
60	国際問題に関するインターアカデミーパネル(IAP)総会	12月1日	4 日	アレキサンドリア	金澤 一郎 会長 国立精神・神経センター総長	国際委員会ICSU等分科会 第1区分
		12月4日		エジプト		
61	国際問題に関するインターアカデミーパネル(IAP)総会	12月1日	5 日	アレキサンドリア	土居 範久 副会長 中央大学理工学部教授	国際委員会ICSU等分科会 第1区分
		12月5日		エジプト		
62	国際問題に関するインターアカデミーパネル(IAP)総会	12月1日	4 日	アレキサンドリア	高橋 桂子 連携会員 独立行政法人海洋研究開発機構地球シミュレーションセンター複雑性シミュレーション研究グループリーダー	国際委員会ICSU等分科会 第1区分
		12月4日		エジプト		

1 4	
幹事会	2 8

提 案

第 6 回産学官連携サミットの開催

1 提 案 者 会 長

2 議 案 標記について、別紙のとおり開催すること。

(別紙)

第6回産学官連携サミットについて

1. 趣旨

第2期科学技術基本計画の下、産学官連携の重要性についての理解は拡がり、制度的な枠組みや大学等における体制面でも整備が進んできた。

第3期科学技術基本計画が目指す「イノベーション」については、最先端の研究開発に基づくグローバルレベルの大規模な技術革新のみならず、地域における多様な課題の解決を実現する地域イノベーション、プロセスイノベーション等を含む幅広い概念として捉える必要があるが、日本経済の成長に貢献するイノベーションの創造に向け、産学官の役割と連携の新たな展開について議論を行う。

2. 主催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、
日本経済団体連合会、日本学術会議

3. 共催（予定）

厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、
科学技術振興機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構、
日本学術振興会、宇宙航空研究開発機構、海洋研究開発機構、
理化学研究所、産業技術総合研究所、日本原子力研究開発機構、
情報通信研究機構、情報・システム研究機構、
工業所有権情報・研修館、中小企業基盤整備機構

4. 参加者

産学官のトップ（全体で約1,000人）

5. 日時

11月20日（月）	シンポジウム	13:00～17:30
	交流会	18:00～19:30

6. 場所

赤坂プリンスホテル 「五色の間」（シンポジウム）
「クリスタルパレス」（交流会）

住所：東京都千代田区紀尾井町1-2

電話：03-3234-1111

7. 内容

ーシンポジウムー (13:00～17:30)

(1) 開会 (13:00～13:10)

(2) 基調講演 (13:10～13:40)

高市早苗

内閣府特命担当大臣 (科学技術政策)

(3) 特別講演 (13:40～14:40)

① 「イノベーション政策と産学連携」 (仮題)

ウィリアム・ミラー 元スタンフォード大学副学長

② 「イノベータ日本」 (仮題)

庄山悦彦

日本経済団体連合会副会長

※ コーヒーブレイク (14:40～15:10)

(4) パネルディスカッション (15:10～17:25)

第1部 スピーカーからの発表

① 「グローバルなイノベーション創出」 (仮題)

・ 小宮山宏 東京大学総長

② 「地域イノベーションの創出」 (仮題)

・ 石川嘉延 静岡県知事

③ 「ベンチャーによるイノベーション」 (仮題)

・ 西岡郁夫 元インテル株式会社社長、
モバイル・インターネットキャピタル株式会社
代表取締役社長

第2部 全体ディスカッション

(モデレータ) 未定

(コメンテータ)

小宮山宏 東京大学総長

石川嘉延 静岡県知事

西岡郁夫 元インテル株式会社社長、

モバイル・インターネットキャピタル株式会社
代表取締役社長

ウィリアム・ミラー 元スタンフォード大学副学長
産業界から
総合科学技術会議議員

ほか

(5) 閉会挨拶 (17:25～17:30)

－交流会－ (18:00～19:30) (会費制)

8. その他

○本会議は、企業、国公立大学（大学共同利用機関・附置研究所を含む）、高等専門学校、地方自治体、国立試験研究機関・特殊法人・独立行政法人等及び関係府省等のトップの方々を中心に御案内申し上げております。是非、御案内させていただいたトップの方々の御参加をお願いいたします。御都合がつかない場合には、代理の方（原則として、企業におかれては専務取締役以上、大学等におかれては副学長、地方自治体におかれては副知事・助役、国立試験研究機関・特殊法人・独立行政法人等におかれては副所長・副理事長）の御参加をお願い申し上げます。

○会議内容等につきましては、今後変更される場合があります。
最新情報は以下のホームページにて御覧いただけます。

第6回産学官連携サミットホームページ
<http://www.dori.jp/summit6/>

1 5	
幹事会	2 8

提 案

日本学術会議地域振興・近畿地区フォーラム
「21世紀の日本が求める人材」(仮題)の開催

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議
- 2 共 催 京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪教育大学、関西学院大学、(財)国際高等研究所、大阪商工会議所、京都商工会議所(予定)
- 3 日 時 平成18年12月22日(金) 13:00～17:20
- 4 会 場 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール
(京都市左京区吉田本町)
- 5 次 第

総合司会 宮本 又郎(関西学院大学教授)

- (1) 開会挨拶 13:00～13:20

金澤一郎(日本学術会議会長)

- (2) 基調講演

① 13:20～14:20 下谷昌久(大阪教育大学監事)

② 14:20～15:20 金森順次郎((財)国際高等研究所所長)

- (3) パネルディスカッション「これからの人材と教育」(仮題)

15:30～17:00

コーディネーター

加護野忠男(神戸大学教授)

パネリスト

猪木武徳(国際日本文化研究センター教授)

白石 隆(政策研究大学院教授)

(or 杉原 薫(京都大学教授))

今中忠行(京都大学教授)

未定 (産業界の人事担当者)

- (4) 閉会挨拶 17:00～17:15

未定

1 6	
幹事会	2 8

提 案

日本学術会議地域振興・東北地区フォーラム
「少子高齢化社会と男女共同参画」の開催

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議
- 2 共 催 東北大学、弘前大学、岩手大学、宮城教育大学、秋田大学、
山形大学、福島大学、宮城大学、東北学院大学、日本学術会
議同友会東北部会
- 3 後 援 宮城県、仙台市、(社)東北経済連合会、河北新報社、NHK
仙台放送局、東北放送(株)、(株)仙台放送、(株)宮城テレ
ビ放送、(株)東日本放送
- 3 日 時 平成18年12月18日(月) 13:00～17:20
- 4 会 場 仙台国際ホテル(仙台市青葉区中央4-6-1)
- 5 次 第

総合司会 野家 啓一(東北地区会議代表幹事)

- (1) 開会挨拶 13:00～13:20

日本学術会議会長(予定)

- (2) 基調講演

- ① 13:20～14:10 猪口 邦子(前内閣府特命担当大臣(少子化・男女共
同参画)、第一部会員)

- ② 14:10～15:00 浅倉むつ子(第一部会員、早稲田大学法科大学院教授)

- (3) パネルディスカッション「少子高齢化社会と男女共同参画」15:10～17:00
コーディネーター

辻村みよ子(第一部会員、東北大学大学院法学研究科教授)

パネリスト 猪口 邦子

浅倉むつ子

その他パネリスト未定

- (4) 閉会挨拶 17:00～17:20

吉本 高志(第二部会員、東北大学総長)

1 7	
幹事会	2 8

提 案

「エネルギーと地球温暖化に関するシンポジウム」の開催

1. 提案者 エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会
2. 共 催 I A C (Inter Academy Council)
3. 後 援 国際連合大学、国際連合大学高等研究所
4. 日 時 平成18年12月16日(土) 9:00～13:00
5. 場 所 東京都区内(調整中)
6. プログラム(案)
 - 9:00～ 9:15 開会挨拶
 - 9:15～10:45 基調講演(45分×2名)
 予定者：茅陽一(地球環境産業技術研究所所長)
 Dr. Steven Chu (IAC スタディパネル共同議長、Director of Lawrence Berkeley National Laboratory, USA)
 - (休憩)
 - 11:00～12:15 パネルディスカッション
 山地憲治(東京大学大学院工学系研究科教授、日本学術会議会員、エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会委員長)
 I A C スタディパネルメンバー、国内専門家 他
 - 12:15～12:35 質疑応答
 - 12:35～13:00 総括及び閉会挨拶

入場無料、日本語英語同時通訳付

なお、シンポジウム終了後(14:30～18:00)に、I A C スタディパネル及び本委員会関係者によるワークショップを予定している。

1 8	
幹事会	2 8

提 案

公開シンポジウム「魅力的都市構築のための都市・屋上緑化」の開催

1. 提案者 農学基礎委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議農学基礎委員会 農業と環境分科会、同委員会農業生産環境工学分科会
2. 日 時 平成18年11月9日（木）13：30～16：30
3. 場 所 日本学術会議6－A（1）（2）会議室（6階）
4. 次 第

開催趣旨

大都市では地球温暖化の影響とともに都市特有の気温上昇があり、東京ではその気温上昇は100年間で約3℃にもなっている。この気温上昇は大停電などの都市機能の崩壊をもたらす危険性があり、この気温上昇軽減・抑制が急務である。また、魅力的な都市を構築するには緑化が不可欠である。そこで、この講演会では、魅力的都市構築のための都市緑化および屋上緑化などの緑化方法とその効果などについて、農業環境工学的な観点から講演・討論し、それによって広く情報や意見を集約することが目的である。本シンポジウムにおける情報・資料に基づいて、日本学術会議の対外報告に資する。

13:30～13:35 開会挨拶

真木 太一（九州大学大学院農学研究院教授、日本学術会議会員、日本学術会議農学基礎委員会委員長、同委員会農業と環境分科会委員長、同委員会農業生産環境工学分科会委員長）

講演

座長：青木正敏（東京農工大学農学部教授、日本学術会議連携会員）

13:35～14:10

(1)都市の熱環境から見た都市の緑化のあるべき姿

森山正和（神戸大学工学部教授）

14:10～14:45

(2)屋上緑化、校庭緑化工法とその効果

三坂育正（(株)竹中工務店技術研究所先端技術研究部エコエンジニアリング部門主任研究員）

横山 仁（東京都環境科学研究所基盤研究部大気研究グループ主任研究員）

14:45～15:00 休憩

15:00～15:35

(3)都市緑化・屋上緑化等の経済的効果とアメニティー効果

藤田 茂（(有)緑花技研代表）

15:35～16:10

(4)都市緑化としての農業と菜園

鈴木義則（九州大学農学部教授、日本学術会議連携会員）

16:10～16:25 総合討論

座長：青木正敏、早川誠而（山口大学農学部教授、日本学術会議連携会員）、真木太一

16:25～16:30 閉会挨拶

橋本 康（東京農業大学客員教授（愛媛大学名誉教授）、日本学術会議連携会員、日本学術会議農学基礎委員会農業と環境分科会副委員長、同委員会農業生産環境工学分科会副委員長）

1 9	
幹事会	2 8

提 案

シンポジウム「現代の研究倫理 — 責任ある研究調査とは何か —」の開催

1. 提案者 浅島副会長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議、早稲田大学
2. 日 時 平成19年1月13日（土）10:00～18:00
3. 場 所 早稲田大学国際会議場井深大記念ホール
4. 趣旨

現在、国際水準の科学技術研究では、「責任ある研究調査」（RCR: Responsible Conduct of Research）が求められ、その教育・調査・監督は大学・研究機関の社会的責務となっている。

科学技術は、現在ならびに将来の人々に対して大きな影響を与えるがゆえに、倫理的責任も負う。大学や研究機関に RCR に関する部局が設けられ、さらに、一定の要件を満たして構成される研究倫理審査委員会（IRB: Institutional Review Board）が、効率よく機能しているということが、当該大学・機関の研究活動が学界および国際社会で信頼を得る上での、大前提となる。

将来にわたって、国際的に信頼される大学・研究機関であるためには、研究倫理（RE: Research Ethics）をめぐる議論を積み重ねる一方、研究の誠実性（RI: Research Integrity）の観点も学ばれ守られることが必要不可欠であり、これらが統合されて、教育と調査を主軸とした RCR が展開されていくことが望ましいと考えられる。

こうした観点から、この問題に関する現代の米・欧と国内の権威を招聘して、2007年1月13日（土）に、早稲田大学で国際シンポジウムの開催を計画している。

5. プログラム

< 午前の部 >

10:00-10:10 挨拶

1) 早稲田大学副総長

2) 浅野茂隆 (早稲田大学理工学術院特任教授・日本学術会議連携会員)

10:10-12:10 講演

1) Dr. Frank Wells, Co-Chairman, European Forum for Good Clinical Practice

2) Dr. Chris B. Pascal, Director, Office of Research Integrity (ORI)

12:10-12:30 質疑応答

12:30-13:30 休憩

< 午後の部 >

13:30-14:00 講演

3) 浅島誠 (日本学術会議副会長)

14:00-14:45

4) Dr. Lin, Deputy Director, Office of Human Research Protections (OHRP)

14:45-15:00 休憩

15:00-16:50 パネルディスカッション

《司会: 菱山豊 (日本学術会議事務局参事官)》

16:50-17:00 休憩

17:00-18:00 会場と一般討議

《司会: 菱山豊 (日本学術会議事務局参事官)》

18:00 閉会の挨拶

浅野茂隆 (早稲田大学理工学術院特任教授・日本学術会議連携会員)

20	
幹事会	28

「宇宙利用シンポジウム（第23回）」の開催について

1. 提案者 総合工学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議総合工学委員会
- 2 共 催 独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部
- 3 日 時 平成19年1月15日（月）13：00～17：00
平成19年1月16日（火）10：00～17：00
平成19年1月17日（水）10：00～17：00

4 場 所 日本学術会議 6階会議室

5 次 第

討論主題 「宇宙を利用する科学諸分野の課題とその将来」

○平成19年1月15日

プレナリーセッション

「宇宙利用シンポジウムの開催にあたって」久保田 弘敏（連携会員：東海大学）

「宇宙を利用する諸科学のすすめかた」栗林 一彦（JAXA）

（外講演6件予定）

○平成19年1月16日

物質科学・基礎科学スプリンターセッション

「微小重力下の物性測定」日比谷孟俊（連携会員：首都大学東京）

（外講演14件予定）

生命科学スプリンターセッション

「フロンティア生物の戦略」高橋秀幸（東北大学）

（外講演13件予定）

○平成19年1月17日

物質科学スプリンターセッション

「微小重力燃焼と材料合成」藤田修（北海道大）

（外講演9件予定）

生命科学スプリンターセッション

「アストロバイオロジーの計画」小林 憲正（横浜国立大学）

（外講演10件予定）

プレナリーセッション

2 1	
幹事会	2 8

提 案

国内会議の後援

- 1 提 案 者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○ 後援する

名 称 等	申 請 者	審議付託先
第3回日本社会福祉学会政策・理論フォーラム ① 主催：日本社会福祉学会 ② 会期：平成18年12月2日 ③ 場所：愛知県立大学講堂	日本社会福祉学会代表者	第一部
第21回日本がん看護学会学術集会・日本がん看護学会第2回国際学術集会合同大会 ① 主催：日本がん看護学会 ② 会期：平成19年2月9日 ③ 場所：東京国際フォーラム	第21回日本がん看護学会学術集会長 日本がん看護学会第2回国際学術集会長	第二部
第11回人と動物に関する国際会議（IAHAI02007 東京大会） ① 主催：IAHAI0 東京大会実行委員会 ② 会期：平成19年10月5日～8日 ③ 場所：京王プラザホテル, 東京大学安田講堂	IAHAI0 東京大会実行委員会実行委員長	第二部

○今後の予定

(1) 幹事会

- | | |
|-----------|------------------------|
| ① 第29回幹事会 | 平成18年11月22日(水) 14:00から |
| ② 第30回幹事会 | 平成18年12月21日(木) 14:00から |
| ③ 第31回幹事会 | 平成19年 1月25日(木) 14:00から |
| ④ 第32回幹事会 | 平成19年 2月22日(木) 14:00から |
| ⑤ 第33回幹事会 | 平成19年 3月22日(木) 14:00から |
| ⑥ 第34回幹事会 | 平成19年 4月 9日(月) 総会終了後 |
| ⑦ 第35回幹事会 | 平成19年 4月10日(火) 総会終了後 |
| ⑧ 第36回幹事会 | 平成19年 4月11日(水) 委員会終了後 |

(2) 連合部会

- ・ 平成19年 2月13日(火)

(3) 総 会

- ・ 平成19年 4月 9日(月) から11日(水) まで [春の定例総会]